放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 29日　　事業所名　　こすもすの広場

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容に合わせて、適切なスペース作りを行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		その日の利用人数や活動内容に合わせて職員配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			古くなっている設備を見直し、必要な個所は修繕する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		必要に応じて職員会議を行い、業務内容の確認、見直しを行っている。	会議中の発言が少ないように感じるので、発言しやすい環境作りを行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		必要に応じて活用し、業務改善に繋げていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所のホームページを活用し、公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		必要に応じて行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スキルアップの研修受講機会を設けており、研修を受けた職員は職員会議の時に内容を説明し、全体で共有できるようにしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		変化があればその都度保護者に確認し、アセスメントの更新に努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議時に活動の見直し、改善を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容がマンネリにならないように少しずつ変化を加えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		利用人数の増加により個別での課題設定が難しい為、少しでも改善できるように内容の見直しに努める。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している		○		現状では個別活動の時間を確保する事が難しい為、活動内容を見直しながら時間を設ける事ができるように努める。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ホワイトボードを使用し、支援の内容や役割分担をいつでも確認できるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		ミーティングで話し合った事をノートに記録し、再度見直せる環境作りを行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	◯			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	◯			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	◯			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		サービス担当者会議がなかった為、行われた際は記載の通り行っていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		学校側には、事業所独自に作成した各利用者の予定表及び迎えに行く時間帯を表記したプリントを配布している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状では対象者がいない状況である。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現状では対象者がいない状況である。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現状では対象者がいない状況であるが、対象者がいる場合は支援内容等の情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		同法人である保育園との交流を検討中である。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		機会があれば、積極的に参加できるように努める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			所々保護者への伝達ミスや、職員間での意思の疎通ができておらず、重複した内容を確認する事がある為、職員間での連絡調整を見直していく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会等は行えていない為、各保護者の要望等を聞いて必要に応じて開催できるようにする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった際は直ぐに職員会議を行っている。会議の中で対応や解決策を協議し、会議の中で決まった対応、解決策等を連絡し周知して頂いている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に１回、事業所のホームページに活動や行事内容等を掲示しており、各利用者には活動に取り組んでいる写真を添付し、プリントにして配布し	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
等	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域住民の方との交流はないが、機会があれば参加できるように努める。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		半期ごとに虐待防止チェック表を使用し、全職員間で虐待に対しての意識を強化している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に		○		現状では対象者がいない状況である。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		実際にあった件から繋がりそうな事を事例として職員会議内で検討している。	